





平成22年度新規重点事業(案)意見募集

市民の皆さんのご意見をお聞かせください

市では、徹底した情報公開による市民協働・市民参加型の行政運営を推進するため、「平成22年度佐久市一般会計当初予算(案)」編成過程の公表を行うとともに、新規重点事業に対する市民の皆さんのご意見を募集します。



意見募集対象事業

平成22年度の予算編成方針として、将来の発展を見据えた施策展開を図るため、

- ①『世界最高健康都市の構築』
- ②『安全安心な子育て支援』
- ③『地域経済の活性化』
- ④『交流人口の創出』
- ⑤『徹底した情報公開に基づく市民参加型市政の実現』

の5項目を最重点施策として位置づけ、合併に伴う特例措置を有効に活用し、財政の健全性に配意しつつ、 予算の編成を進めることとしています。

今回、この5項目の最重点施策を具現化するための新規重点事業(案)のうち、一覧表にある8事業に 対するご意見を募集します。お寄せいただいたご意見・ご提案等については、理事者が予算を決定してい く際の参考とさせていただき、可能なものについては、今後の施策・事業展開に反映させていきます。

意見の提出方法

意見提出用紙(5ページ)を切り取り、切手を貼ってお出しください。用紙に書ききれ ない場合は、任意の用紙を使っていただき、同封していただいても構いません。ただし、 同封用紙の重量によっては、80円では送れない場合もありますので、ご注意ください。

市ホームページにある様式により提出してください。

メールアドレス zaisei@city.saku.nagano.jp

ファックス 広報様式、電子メール様式どちらでも結構です。 2063-1680

直接持参

市役所本庁庶務課、各支所総務課、各出張所の窓口へ提出してください。 ※電話および口頭でご意見をいただくことはできませんので、ご了承ください。

意見の募集期間

12月2日(水~18日金)

お寄せいただいたご意見の集計結果、回答および予算編成の経過等については、今後の広報やホーム ページに掲載します。

■お問い合わせ 財政課 ☎62-3032 (直通)

意見募集対象事業一覧表

(単位:千円)

믉 担 当 課 番 介画課 事 業 名 世界最高健康都市構想策定 重点施策の分類 ①世界最高健康都市の構築 佐久市では、世界最高健康都市実現に向けて各種の事業を行っていますが、その目指す姿 を明らかにし、より有効で効果の高い事業を立案して、体系的に実施する必要があります。 そのため、平成22年度に、実現のための構想と行動計画からなる「世界最高健康都市実現 事業の内容 プラン(仮称)」を策定し、平成23年度から行動計画に基づいた各種事業を推進します。 プランの策定にあたっては、より効果が高く実現性のあるものとするため、識見者や専門 的知識を有する皆さんによる懇話会を設け、懇話会からの意見や提言を受けて策定します。 平成 22 年度の事業は、プラン策定のための懇話会開催や資料作成が主な事業となります。 国・県支出金 H22年度事業費 市債(借入金) その他 一般財源(市税等) 事業費および 財 源 内 訳 1,049 1,049 事業費 国・県支出金 市債(借入金) その他 一般財源(市税等) 事業費総額 1.049 1.049 担当課 番 号 2 学校教育課 事 業 岩村田地区北部への新小学校建設事業 名 ②安全安心な子育て支援 重点施策の分類 現在、岩村田小学校は、学級数が31を超えている過大規模校となっており、今後も学級 数が増加し、教室の不足が見込まれます。 そのため、適正規模(12~18学級)の新小学校を岩村田地区北部に分離新設します。新 小学校の建築により、現岩村田小学校も適正規模校となり、快適で安全安心な教育環境を実 事業の内容 現することができます。 平成 22 年度は、建設候補地の農振地域除外申請や不動産鑑定、現況測量を実施するとと もに、新小学校のコンセプトや教育方針等の立案、基本計画の策定等、専門的な視点から学 校施設の企画を担当する新校企画専門員の配置を行います。 H22年度事業費 国・県支出金 市債(借入金) その他 一般財源(市税等) 事業費および 財 源 内 訳 12,620 12,620 事業費 国・県支出金 市債(借入金) その他 一般財源(市税等) 事業費総額 4,150,719 622,530 576,100 1,000,000 1,952,089 担当課 番 号 3 農政課 事 新規就農者定着支援事業 重点施策の分類 ③地域経済の活性化 新たな農業の担い手となる新規就農者や農業後継者が、円滑な農業経営を始めるために農 業資材、器具、設備等の整備や経営規模の拡大を図るため、要件を満たした者に対して1回 限り一律30万円を交付するものです。 また、県の里親研修終了者は、就農後、すぐには所得に繋がらないことから安定的な農業 事業の内容 経営を進めるための営農支援金年額20万円を3年間交付するものです。 支援金の交付を受ける場合は、市内に3年以上継続して就農することに合わせて、5年以 内に認定農業者になることが条件となります。 担い手となる農業者の確保・育成をすることにより、地域農業の活性化と農業振興を図る ものです。 H22年度事業費 国・県支出金 市債(借入金) その他 一般財源(市税等) 事業費および 財 源 内 訳 2,900 2,900 事業費 その他 一般財源(市税等) 国・県支出金 市債 (借入金) 事業費総額 次年度以降については、継続的に支出していきます。

(単位:千円)

					(単位:千円) ————			
番号	4 担当課 商工課							
事 業 名	佐久ものづくり支援							
重点施策の分類	③地域経済の活性化							
事業の内容	複数の企業が合同で技術提携を行い、新製品開発のための研究や試作品製作等に要する費用の一部を助成するものです。 ものづくりの提案に対して実施可能か、審査会で審査を行い、1事業最長3年間の交付を行います。 各企業が持っている特色ある技術を持ち寄り、企業間連携による新製品の研究開発(ものづくり)を行うことで、顧客の新規開拓や販路拡張につなげ、市内工業の活性化を図るものです。							
事業費および	H22年度事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)			
財源内訳	5,000				5,000			
事業費総額	事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)			
学 未 貝 心 贺	15,000				15,000			
番 号	5	5 担当課 農政課						
事 業 名	故郷ふれあい交流	事業						
重点施策の分類	④交流人口の創出							
事業の内容	佐久市の豊かな自然環境や農業、林業などの地域資源を活かした体験型交流を通じて、都市部住民と佐久市民の交流を行うものです。 市内で体験型交流を受け入れていただける地域体験型交流支援団体や関係機関と連携し、この取り組みの普及や啓発、情報発信等の活動を行い、体験交流による地域経済の活性化や観光客の増加および定住化の促進を図るものです。 この体験型交流を3年以上にわたり、受け入れる地域の支援団体に対し、体験交流事業の支援金として、1回に限り、20万円を交付します。							
事業費および	H22年度事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)			
財 源 内 訳	2,294				2,294			
声 	事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)			
事業費総額								
番 号	担当課 文化施設課							
事 ₩ <i>/</i> 2	信州佐久の偉人たち紹介							
事 業 名	信州佐久の偉人た	ち紹介						
事 業 名 重点施策の分類	信州佐久の偉人た ④交流人口の創出	ち紹介						
	④交流人口の創出 教育・芸術・政 人材が輩出されて 介することにより えます。 平成 22 年度は、 とともに、調査のが 平成 23 年度は、	治・スポーツなきました。これ、県内外の人々 「人物顕彰調査」 にめの事前資料 「選定候補者を 査書を作成しま	ら多くの人々の中でとの交流が生まれ、 証検討委員会」(仮称である「選定候補者 のである「選定候補者」をもとに人物の である、選定した	、特に顕著な人物 交流人□の創出に ・ を立ち上げ、人 名簿」の作成を行い)経歴や特色、資料	・偉人など数多くのを取り上げ全国に紹寄与できるものと考物選定の基準を作るいます。 、文献などの調査をの方法を策定し、展			
重点施策の分類	④交流人口の創出教育・芸術・政治人材が輩出されて活力することによりまます。平成 22 年度は、とともに、調査のが平成 23 年度は、行うとともに、調査のができる。	治・スポーツなきました。これ、県内外の人々 「人物顕彰調査」 にめの事前資料 「選定候補者を 査書を作成しま	ら多くの人々の中でとの交流が生まれ、 証検討委員会」(仮称である「選定候補者・ 3簿」をもとに人物の す。また、選定した す。	、特に顕著な人物 交流人□の創出に ・ を立ち上げ、人 名簿」の作成を行い)経歴や特色、資料	を取り上げ全国に紹 寄与できるものと考 物選定の基準を作るいます。 、文献などの調査を			
重点施策の分類事業の内容	④交流人口の創出 教育・芸術・政治人材が輩出されて活介することによりまます。 平成 22 年度は、とともに、調査のが平成 23 年度は、行うとともに、調査のができたともに、調査のができた。	治・スポーツなきました。これ、県内外の人々 「人物顕彰調査」 「とめの事前資料」 「選定候補者を 音書を作成しま	ら多くの人々の中でとの交流が生まれ、 証検討委員会」(仮称である「選定候補者・ 3簿」をもとに人物の す。また、選定したす。	、特に顕著な人物 交流人□の創出に)を立ち上げ、人 名簿」の作成を行い)経歴や特色、資料 ・人物の紹介や展示	を取り上げ全国に紹 寄与できるものと考 物選定の基準を作るいます。 、文献などの調査を の方法を策定し、展			
重点施策の分類 事業の内容	④交流人口の創出 教育・芸術・政 人材が輩出されて 介することにより えます。 平成 22 年度は、 とともに、調査のが 平成 23 年度は、 行うとともに、調 示に供する施設にる H22年度事業費	治・スポーツなきました。これ、県内外の人々 「人物顕彰調査」 「とめの事前資料」 「選定候補者を 音書を作成しま	ら多くの人々の中でとの交流が生まれ、 証検討委員会」(仮称である「選定候補者等)をもとに人物のす。また、選定したす。	、特に顕著な人物 交流人□の創出に)を立ち上げ、人 名簿」の作成を行い)経歴や特色、資料 ・人物の紹介や展示	を取り上げ全国に紹 寄与できるものと考 物選定の基準を作るいます。 、文献などの調査を の方法を策定し、展 一般財源(市税等)			

(単位:千円)

番 号	7	担	旦 当 課	広報広聴課					
事 業 名	佐久市市民活動サポートセンター(仮称)設置準備								
重点施策の分類	⑤徹底した情報公開による市民参加型市政の実現								
事業の内容	多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい公」の分野における、市民の公益的な市民活動に対する市民の自発的・主体的な参加を促進することを目的に、市民活動支援の拠点となる市民活動サポートセンター(仮称)を設置します。 平成 22 年度は、市民活動サポートセンター(仮称)設置に向け、ワークショップや計画検討委員会等を開催し、設置計画を策定します。 ●佐久市市民活動サポートセンター設置計画検討委員会(仮称)15 人、6回開催 ●ワークショップ(グループで作業を進める体験型の学習や創造の場)50 人、11 回開催								
事業費および	H22年度事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)				
財源内訳	799				799				
事業費総額	事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)				
尹 未 其 応 供	799				799				

	点線にそって切り取ってください 			 ここにのりを付けて貼ってください					,		
いては いっぱつ はは は ない に に に に に に に は い に は い は い は は ま い は ら ま 見 し 重 点 事 業 等 に 対 す る 意 見			事業名	意 見 内 容							
平成22年度-		名									
平成2	無	五	番号								

ここにのりを付けて貼ってください

点線にそって切り取ってください

(単位:千円)

番 号	8	担	旦 当 課	公園緑地課					
事 業 名	佐久市アダプトシステム事業								
重点施策の分類	⑤徹底した情報公開による市民参加型市政の実現								
事業の内容	佐久市が設置または、管理する道路、公園等の街路樹や植栽帯の管理をする市民や団体等を支援するため、管理に必要な作業用品、燃料代、肥料などを支給し、潤いと安らぎのある公園都市の形成を図ります。 当初実施したい地域としては、平成21年度に完成する岩村田地区の原東1号線,野沢地区の跡部臼田線と原公園を予定しています。 次年度以降は、継続的な費用として、肥料や燃料代を計上して団体等の支援を行なっていきます。 なお、今後、この事業を佐久市全域に拡大したいと考えており、賛同いただける市民、団体等を積極的に支援するため、管理等に必要な費用を計上し、継続的な事業としていきます。								
事業費および	H22年度事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)				
財源内訳	600				600				
事業費総額	事業費	国・県支出金	市債 (借入金)	その他	一般財源(市税等)				
学 未 貝 脳 朗	880								

点線にそって切り取ってください

80円分の 切手をお貼 りください T385 - 8501

佐久市中込3056番地 佐久市役所

総務部財政課行

点線にそって切り取ってください